

授業科目名 ( 英文名 )	情報処理演習1 (B) (Introduction to Information Processing1)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	片山 貴文	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義では、幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育み、人としての権利を尊重して行動できることを講義目的としています。具体的には、幅広い教養として、大学生活で必要となる最低限の情報リテラシーの知識と技術の習得を目指して、文書の書き方、表作成、表計算、プレゼンテーションについて、実践的な活用法を身に付け、コンピュータを不自由なく使うための基本能力を身につけることを到達目標としています。また、人としての権利を尊重することに関して、個人情報の保護、著作権の侵害、情報資源の占有について学び、情報化社会における正しい行動がとれるようになることを到達目標としています。</p> <p>該当するDP: 1・2</p>		
講義内容・授業計画	<p><b>講義内容</b></p> <p>本講義では最初に本学の情報機器の取り扱いと注意点について講義を行う。次いで、大学生活で必要となる能力(レポートの作成、プレゼンテーション資料の作成、データの分析方法)について身につけるための講義とコンピュータの操作を通じて、徐々に基礎編から応用編へと情報リテラシーの知識と技術を深めていく。</p> <p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学における情報機器の扱い (1回目は単位認定者も出席しなければならない)</li> <li>2. コンピュータ・リテラシー phishing、ポリシー、私的利用、著作権について考える</li> <li>3. 文書の書き方 ワードプロソフト、ハンドル、前面、背面、グループ化</li> <li>4. プレゼンテーションの作法 プレゼンソフト、SmartArt、将来像について考える</li> <li>5. 表作成の作法 表作成ソフト、罫線、セル結合、予定表</li> <li>6. プレゼン応用1 アニメーションの設定 主体的な学びについて考える</li> <li>7. プレゼン応用2 クリエイティブcommons、画像の引用について考える</li> <li>8. グラフの種類と使い分け 縦軸、横軸、目盛、出生率、医療費、医療施設についてまとめる</li> <li>9. レイアウトの使い分け ワードアート、折り返し 院内行事について考える</li> <li>10. 表計算ソフトによる分析1 関数(平均、最大、最小、標準偏差)、ミス、短期記憶についてまとめる</li> <li>11. 表計算ソフトによる分析2 順位、絶対参照、相対参照、セルの強調、認知機能についてまとめる</li> <li>12. ワードプロソフトの実践活用1 レポートの作り方、ルーラー、タブ、リーダー、医療過誤についてまとめる</li> <li>13. ワードプロソフトの実践活用2 応用編、差し込み、感謝状を作る</li> <li>14. 看護業務の中の個人情報の保護 第三者の定義、災害時の扱いについて考える</li> <li>15. プレゼンテーションの実践活用 スライドマスター 自己成長について考える</li> </ol>		
テキスト	適時、必要な資料を配布する。		
参考文献	とくに指定しないが自分にあった1冊を用意することが望ましい。		
成績評価の基準・方法	<p>大学生活で必要となる最低限の情報リテラシーの知識と技術を有する者に単位を授与する。情報機器を扱うための知識と技術として、文書の書き方、表の作成、表計算、プレゼンテーションに関する実践的活用能力について、および、個人情報の保護、著作権の侵害、情報資源の占有など、情報化社会における正しい行動がとれる能力について、その到達度に応じてSからCの成績を与える。</p> <p>各回に提出する課題について、1.課題に対する知識と理解度、2.自分なりの視点・表現力、3.適切な引用の観点から評価(90%)し、講義時間中・時間外の積極的な質問など、講義課題への取り組みを評価に加える(10%)。</p>		
履修上の注意・履修要件	課題の仕上げを講義時間外(後日)行って必ず復習してください。欠席した日の課題は、自らの責任で実施し、次の開始前までに課題提出する必要があります。		

	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当授業は、対面で実施を基本としますが、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を2教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、自宅でのオンライン授業を実施する方法とがあり（オンライン形式の回は授業計画に記載）、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。感染拡大等により授業方法が変更になる場合は、事前に連絡します。</li></ul>
実践的教育	該当しない
備考	1回目は、本学における情報機器の扱いについての諸注意であり、本学で情報機器を触る全ての者が学ばなければならない事項のため、単位認定者も出席する必要がある。